

経営健全化方針に基づく取組み状況
(令和4年度)

○法人名：一般財団法人 速日の峰振興事業団

○経営健全化方針を策定した理由

平成29年度時点において、経常損益が3年連続赤字となったため、経営健全化の取組が必要であると判断し、策定したもの。

○経常損益の状況 (千円)

項目	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	令和5年度 (目標年度)
経常損益	△7,626	△4,913	△4,340	△3,902	△1,820	1,554	0

○主な取組み状況 (令和5年3月31日現在)

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・ YOUTUBEやINSTAGRAMなどのSNSを積極的に利用して施設のPRに取り組んだ結果、個人やグループの利用が増え入園者数が前年比17% (1,038人) 増加した。
- ・ 財団職員自らの施設補修作業、休園時間活用の創意工夫など常にコストを意識した取組を継続し人件費や修繕料、委託料の節減を図った。
- ・ 経営健全化の取組みにより前年度比3,375千円の経営改善となり、6年連続の改善 (H29前年度比1,744千円、H30は2,713千円、R1は585千円、R2は437千円、R3は2,082千円、R4は3,374千円の改善) となった。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・ 平成30年8月に「第1回第三セクター等経営改善検討会議」を開催し、経営評価、検証を行った。
- ・ 平成30年11月には、市職員と外部専門家現地視察・法人職員との検討会を実施し、平成31年2月開催の「第2回第三セクター経営改善検討会議」では、外部専門家からの意見を交えての経営評価、検証を行った。
- ・ 前年度と同様に令和4年6月、令和5年3月に開催された法人の理事会に市職員が理事として出席し、予算、決算の審査を行った。
- ・ 市所管課と法人との間で経営改善に関する検討会議を昨年度5回開催し、経営状況や事業計画等について検証した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(千円)

	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
資産総額	52,163	46,881	41,330	37,392	37,048	37,164
(うち現金預金)	10,158	11,590	9,774	10,152	8,019	9,885
(うち売上債権)	4	3	4	5	56	62
(うち棚卸資産)	685	733	960	635	579	567
(負債総額)	5,091	4,722	3,510	3,474	4,949	3,511
(うち当該地方公共団体 からの借入金)	0	0	0	0	0	0
純資産総額	47,072	42,159	37,820	33,918	32,098	33,652

(損益計算書から)

(千円)

	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
経常収益	36,665	36,988	36,791	24,250	27,201	33,168
経常費用	44,291	41,901	41,130	28,152	29,021	31,614
経常損益	△7,626	△4,913	△4,340	△3,902	△1,820	1,554
経常外損益	0	0	0	0	0	0
当期純損益	△7,626	△4,913	△4,340	△3,902	△1,820	1,554